

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 ヒーハイト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6433 URL <https://www.hephaist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,229	△28.7	△198	—	△248	—	△292	—
2025年3月期第3四半期	1,725	△2.5	△50	—	△56	—	△49	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △294百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 △47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△46.83	—
2025年3月期第3四半期	△7.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,912	2,518	51.3
2025年3月期	5,007	2,818	56.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,518百万円 2025年3月期 2,818百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,603	△28.6	△216	—	△295	—	△340	—	△54.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,316,700株	2025年3月期	6,316,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	78,799株	2025年3月期	78,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,237,912株	2025年3月期3Q	6,237,916株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善やインバウンド需要の底堅さに支えられ、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。一方で、金融環境は引き締めつつある状況にあり、資金調達環境には慎重な対応が求められる状況となっております。

また、地政学的リスクの長期化、米国の通商政策がもたらす世界経済への不確実性、中国経済の停滞等、外部環境は依然として不安定な状況にあります。

こうした状況のもと、当社グループは「中期経営計画Hephaist Vision65」を掲げ、中長期的な視点での成長と収益力の向上に取り組んで参りました。

グローバル経済の枠組みでは、近年、貿易摩擦の長期化や政策不確実性の高まり、金融環境の変動、さらには技術革新の加速等により、需要を左右する要因が一段と複雑化しています。

こうした環境変化に対応するため、当社グループでは、コスト削減の推進に加え、強みを生かした新たな精密部品の受託加工の獲得や、独自技術を活用した自社ブランド製品の販路拡大に取り組んでおります。また、利益率の低い形番についてはスクラップ・アンド・ビルドを実行し、収益力の向上と安定的な収益構造の確立に向けた準備を進めております。

しかしながら、産業用機械関連の需要回復は依然として遅れており、生産調整を余儀なくされる状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,229,296千円（前年同期比28.7%減）となりました。

利益面につきましては、直動機器及びレース用部品の売上高減少により、営業損失198,392千円（前年同期は、営業損失50,739千円）、経常損失248,432千円（前年同期は、経常損失56,903千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失292,139千円（前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純損失49,424千円）となりました。

直動機器につきましては、産業用機械関連の需要回復遅れや、中国市場の受注停滞が継続したこと等の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は794,751千円と前年同期と比べ261,962千円の減少（前年同期比24.8%減）となりました。

精密部品加工につきましては、新たな受託加工の取り込みに努めましたが、レース用部品のレギュレーション変更に伴う影響を受け、売上高は256,531千円と前年同期と比べ262,496千円の減少（前年同期比50.6%減）となりました。

ユニット製品につきましては、中国市場における電子部品生産設備の案件に対応したことでステージ製品の売り上げが増加したことにより、売上高は178,012千円と前年同期と比べ28,482千円の増加（前年同期比19.0%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,912,290千円となり、前連結会計年度末と比べ95,279千円の減少となりました。主な要因は、棚卸資産157,119千円の増加に対し、電子記録債権154,526千円、繰延税金資産38,361千円の減少によるものであります。

負債は、2,394,061千円となり、前連結会計年度末と比べ205,128千円の増加となりました。主な要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む）48,402千円の減少に対し、仕入債務41,690千円及び短期借入金250,000千円の増加によるものであります。

純資産は、2,518,229千円となり、前連結会計年度末と比べ300,407千円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金298,377千円の減少によるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は51.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日公表の業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して営業損失を計上し、前連結会計年度につきましてはマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても、営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

この主な要因は、エネルギー価格や原材料価格の高止まりを受け、利益率の低い形番の整理（スクラップ・アンド・ビルド）を進め、成長性の高い製品に経営資源を集中させる戦略をとったものの、想定以上に産業用機械業界の需要回復が遅れたことにあります。

当社グループは、このような状況を解消するために、ユニット事業の拡大と、受託加工領域における提案型営業強化による継続的なレース用部品の受注獲得、原材料費等の高騰を反映した価格転嫁の徹底、並びに生産ロスの圧縮や人員体制の最適化といったコスト構造の抜本的な見直しを実施し、収益力の向上や安定収益構造への変革を図っている途上にあります。

また、現金及び預金、取引金融機関との当座貸越契約の未実行残高等の資金余力を十分に確保しております。今後も機動的に資金調達を行っていくことで、当面の間の運転資金を十分に賄える状況にあることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	559,165	530,517
受取手形及び売掛金	215,773	192,400
電子記録債権	459,847	305,320
商品及び製品	443,933	495,099
仕掛品	433,020	516,319
原材料及び貯蔵品	256,855	279,508
その他	25,919	25,083
流動資産合計	2,394,514	2,344,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	579,649	540,583
機械装置及び運搬具(純額)	424,320	374,162
工具、器具及び備品(純額)	29,918	19,836
土地	908,966	908,966
リース資産(純額)	338,288	412,015
建設仮勘定	2,910	1,530
有形固定資産合計	2,284,053	2,257,094
無形固定資産		
7,175		7,062
投資その他の資産		
保険積立金	276,538	296,663
繰延税金資産	40,380	2,019
その他	4,906	5,201
投資その他の資産合計	321,825	303,883
固定資産合計	2,613,055	2,568,040
資産合計	5,007,569	4,912,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,033	66,473
電子記録債務	147,794	211,045
短期借入金	—	250,000
1年内償還予定の社債	7,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	334,878	333,954
リース債務	50,998	63,614
未払法人税等	12,106	8,747
賞与引当金	21,243	4,443
株主優待引当金	60,633	22,500
その他	136,818	73,508
流動負債合計	859,505	1,042,286
固定負債		
社債	8,000	—
長期借入金	686,571	639,093
リース債務	328,263	396,794
役員退職慰労引当金	183,537	192,393
退職給付に係る負債	108,655	107,293
その他	14,400	16,200
固定負債合計	1,329,427	1,351,774
負債合計	2,188,933	2,394,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	701,432	701,432
利益剰余金	1,359,023	1,060,645
自己株式	△15,416	△15,426
株主資本合計	2,777,591	2,479,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	524
為替換算調整勘定	41,142	38,500
その他の包括利益累計額合計	41,044	39,025
純資産合計	2,818,636	2,518,229
負債純資産合計	5,007,569	4,912,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,725,272	1,229,296
売上原価	1,429,770	1,064,740
売上総利益	295,502	164,555
販売費及び一般管理費	346,241	362,947
営業損失(△)	△50,739	△198,392
営業外収益		
受取利息	332	245
受取手数料	1,473	1,494
補助金収入	83	1,511
保険解約返戻金	1,764	6,679
廃材売却収入	1,735	1,555
為替差益	407	748
その他	604	262
営業外収益合計	6,401	12,496
営業外費用		
支払利息	12,453	15,450
休業損失	—	24,480
株主優待引当金繰入額	—	22,500
その他	111	106
営業外費用合計	12,565	62,536
経常損失(△)	△56,903	△248,432
特別損失		
固定資産除却損	8	132
ゴルフ会員権評価損	—	200
特別損失合計	8	332
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,911	△248,764
法人税等	△7,486	43,374
四半期純損失(△)	△49,424	△292,139
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△49,424	△292,139

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△49,424	△292,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	622
為替換算調整勘定	2,140	△2,642
その他の包括利益合計	1,889	△2,019
四半期包括利益	△47,535	△294,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,535	△294,159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、精密機器製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	136,654千円	145,399千円